

正誤情報

このたびは森北出版株式会社発行の書籍をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。下記の書籍につきまして誤りのある箇所がございましたので、お詫びし訂正させていただきます。

2017年4月10日 森北出版株式会社 生産マネジメント部

タイトル

ゼロからはじめるVisual Basic入門

正誤対象

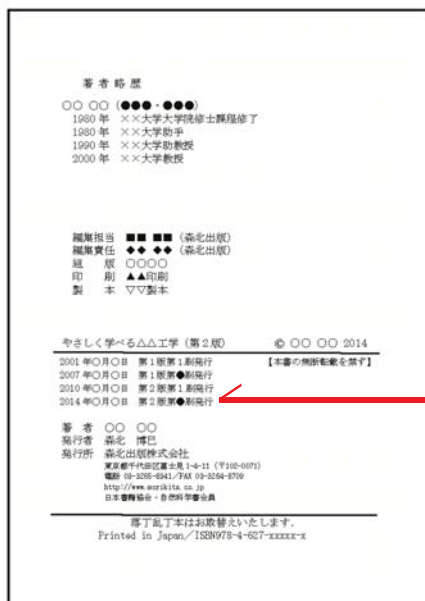
お手持ちの書籍の刷数をお調べのうえ、下の表をご覧ください。正誤表内の一番左に「対応刷数」という列がございます。該当する刷数の訂正情報をご参照下さい。

なお、刷数につきましては下記「刷数の調べ方」をご参照ください。

お持ちの本の刷数	
1	対応刷数 1 より 3 までをご参照ください
2	対応刷数 2 より 3 までをご参照ください
3	対応刷数 3 をご参照ください
それ以降	現在把握している訂正情報はございません

刷数の調べ方

本の一番後ろのページ(広告等除く)に下図のようなページがございます。ご参照いただき、お持ちの本の刷数をお調べください。



日付の最も新しい行に記載された数字がお持ちの本の刷数となります

対応刷数	頁	行数, 図・表・式番号	誤	正
1	33	例題 2.3 プログラム リスト 4 行目	TextBox2 の値を…	'TextBox2 の値を… (はじめにアポストロフィが付く)
3	38	3.2 例 1 下から 3 行目	…アパーサンド…	…アンパサンド…
1	47	2 行目	RadioButton1 が変化したときだけでなく, RadioButton2 のチェックが…	TextBox1 が変化したときだけでなく, RadioButton1 および RadioButton2 のチェックが…
3	60	図 4.22 1 番目の処理	変数 ← 初期値	変数 <u>1</u> ← 初期値
3	61	図 4.24 ループ 1, ループ 2 の ループ条件	ループ 1 i = <u>0</u> To 9 ループ 2 j = <u>0</u> To 9	ループ 1 i = <u>1</u> To 9 ループ 2 j = <u>1</u> To 9
3	67	図 5.6 ループ条件	i = <u>0</u> To 4	i = <u>1</u> To 4
1	83	例題 6.3	例題 6.2 のプログラムにファイルの指定機能を追加してみましょう.	例題 6.2 のプログラムにファイルの指定機能を追加してみましょう. ここでは, オープン時にファイル指定を行う OpenFileDialog と保存時にファイル指定を行う SaveFileDialog を使用します.
1	83	図 6.3	右のように修正	<p>ツールボックスのOpenFileDialogを選択し, Form1上のオブジェクトを配置していない場所をクリックする. Form1上ではなく, Form1の下に配置される.</p> <p>ツールボックスのSaveFileDialogを選択し, Form1上のオブジェクトを配置していない場所をクリックする. Form1上ではなく, Form1の下に配置される.</p>
2	106	図 8.10	PictureBox1 と PictureBox2 の “BackColor” は “BorderStyle” が正しい	

2	109	図 8.11	PictureBox1 と PictureBox2 の “BoderStyle” は “ <u>B</u> orderStyle” が正しい	
1	123	図 9.12	(一番下の囲いの中) Timer1 の Enabled を True Interval を 300 に変更	Enabled を True Interval を 300 に変更
3	126	右列 あ行 2 行目	<u>ア</u> パーサンド……………38	<u>アン</u> パサンド……………38 (変更して「アンダースコア」の下に移動)

最終更新 2017.4